

令和2年度宮津市12月補正予算(案)の概要

会 計		補正前予算額	補正予算額	計	対前年同期比	
					伸 率	R元(12月補正後)
		千円	千円	千円	%	千円
一 般 会 計		13,632,621	47,648	13,680,269	△0.9	13,800,265
特別 会計	国民健康保険事業	2,214,813	△70	2,214,743	0.3	2,207,103
	介護保険事業	2,995,210	△180	2,995,030	1.1	2,961,905
	そ の 他	589,037		589,037	△69.9	1,958,597
	計	5,799,060	△250	5,798,810	△18.6	7,127,605
公営 企業 会計	水 道 事 業	1,251,001	△775	1,250,226	9.9	1,137,113
	下 水 道 事 業	1,790,948	△33,173	1,757,775	皆増	
	計	3,041,949	△33,948	3,008,001	164.5	1,137,113
合 計		22,473,630	13,450	22,487,080	1.9	22,064,983

< 12月補正予算(案)の概要 >

- 一般会計 : 新型コロナウイルス感染症対策として、観光客の受け入れ態勢の充実等の「経済回復対策」、福祉施設の「感染防止対策」、都市部からの副業・兼業人材の受入推進等の「新たな生活様式への対応」を行うほか、養老診療所の医師交代に伴う診療体制支援、人事院勧告に基づく人件費補正などを行うもの。
- 特別会計等 : 人事院勧告に基づく人件費等の整理(国保・介保・水道事会・下水事会)、借入利率の確定等に伴う企業債の整理(水道事会・下水事会)、一般会計繰入金を含む会計整理等(下水事会)を行うもの。

令和2年度一般会計歳入歳出補正予算【12月補正・第8号】

歳 入		(単位：千円)		
区 分	補正前の 予 算 額	補 正 予 算 額	補正後の 予 算 額	備 考
1 市 税	2,542,716		2,542,716	
2 地 方 譲 与 税	82,100		82,100	
3 利 子 割 交 付 金	2,100		2,100	
4 配 当 割 交 付 金	12,600		12,600	
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	6,600		6,600	
6 法 人 事 業 税 交 付 金	7,900		7,900	
7 地 方 消 費 税 交 付 金	424,800		424,800	
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	7,000		7,000	
9 環 境 性 能 割 交 付 金	12,200		12,200	
10 地 方 特 例 交 付 金	12,117		12,117	
11 地 方 交 付 税	3,842,807		3,842,807	
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	2,400		2,400	
13 分 担 金 及 び 負 担 金	98,766	405	99,171	農地農業用施設災害復旧事業分担金
14 使 用 料 及 び 手 数 料	284,448		284,448	
15 国 庫 支 出 金	3,391,074	18,745	3,409,819	地方創生臨時交付金 18,085 障害者総合支援事業費補助金 330 ほか
16 府 支 出 金	986,148	7,323	993,471	社会福祉施設等感染症対策等支援補助金 5,973 農地農業用施設災害復旧事業費補助金 1,350
17 財 産 収 入	58,354		58,354	
18 寄 附 金	121,000	1,415	122,415	新型コロナウイルス感染症対策寄付金
19 繰 入 金	180,147		180,147	
20 繰 越 金	1	16,466	16,467	(純繰越金：68,806)
21 諸 収 入	170,127	2,394	172,521	多面的機能支払交付金事業返還金
22 市 債	1,387,216	900	1,388,116	災害復旧債 900
歳 入 合 計	13,632,621	47,648	13,680,269	

歳 出		(単位：千円)		
区 分	補正前の 予 算 額	補 正 予 算 額	補正後の 予 算 額	備 考
1 議 会 費	135,576	△ 1,432	134,144	人件費補正 ほか
2 総 務 費	1,823,235	9,405	1,832,640	副業・兼業プロ人材活用事業 3,500 浜町にぎわいづくり推進事業 3,500 人件費補正 ほか
3 民 生 費	5,113,353	540	5,113,893	社会福祉援護事務事業 660 人件費補正 ほか
4 衛 生 費	1,432,920	8,599	1,441,519	診療所管理事業 3,000 新型コロナウイルス感染拡大防止事業 5,973 ほか
5 労 働 費	2,985		2,985	
6 農 林 水 産 業 費	370,051	687	370,738	強い農業づくり支援事業 1,000 人件費補正
7 商 工 費	403,720	9,801	413,521	宮津天橋立観光V字回復推進事業 10,000 人件費補正
8 土 木 費	1,273,986	22,371	1,296,357	下水道事業会計繰出金 23,547 人件費補正 ほか
9 消 防 費	446,052	△ 68	445,984	人件費補正
10 教 育 費	1,230,709	△ 773	1,229,936	人件費補正
11 災 害 復 旧 費	101,000	2,700	103,700	農地農業用施設災害復旧事業 2,700
12 公 債 費	1,290,426	△ 4,182	1,286,244	市債償還元金 131 市債利子 ▲ 4,313
13 予 備 費	8,608		8,608	
歳 出 合 計	13,632,621	47,648	13,680,269	

令和2年度 宮津市12月補正予算(案) 主要事業の概要

※事業の番号に○がついているものは、「令和2年度12月補正予算 事業等説明資料」での説明があるもの。

■ 新型コロナウイルス感染症対策

(単位：千円)

	事業名	令和元年度 決算額	令和2年度 既決予算額	今回補正額	財源内訳		事業の概要	課名	
					特定財源	一般財源			
■ 経済回復対策									
○1	観光客の受け入れ態勢の充実 (浜町にぎわいづくり推進事業)	58,292	33,989	3,500	国	3,500	0	◆道の駅「海の京都 宮津」の観光客受入機能の強化 3,500千円【繰越明許費の設定 3,500千円】 ・平面駐車場区画数の増、誘導看板の設置等	商工観光課
○2	宮津天橋立観光V字回復に向けた誘客推進 ～「宮津カニバス」支援事業～ (宮津天橋立観光V字回復推進事業)	—	36,500	10,000	国	10,000	0	◆観光V字回復に向けた追加の誘客対策の実施 10,000千円 ・高速バス定期便を活用した観光誘客 (カニ料理を含む宿泊・飲食を対象とした割引サービス)	商工観光課
■ 感染防止対策									
3	福祉施設の感染防止対策の強化 (新型コロナウイルス感染拡大防止 事業)	610	37,280	5,973	府	5,973	0	◆福祉施設の感染防止対策の強化 5,973千円 ・介護施設の感染防止設備の導入支援(簡易陰圧装置の導入)	社会福祉課
■ 新しい生活様式への対応									
○4	新しい生活様式を踏まえた都市部からの副 業・兼業人材の受入推進 (副業・兼業プロ人材活用事業)	—	—	3,500	国	3,500	0	◆都市部等からの副業・兼業人材の受入等取組支援 3,500千円【繰越明許費の設定 3,500千円】 ・外部人材マッチングセンターへの支援 3,000千円 ・人材受入に向けたアドバイザー派遣等 500千円	企画課

■ 一般会計に係る補正（新型コロナウイルス感染症対策以外）

(単位：千円)

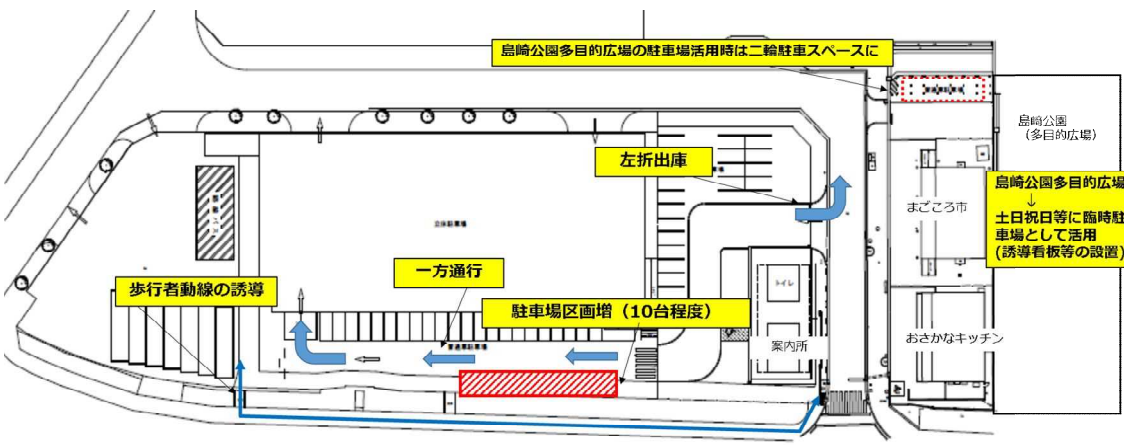
	事業名	令和元年度 決算額	令和2年度 既決予算額	予算額	財源内訳		事業の概要	課名	
					特定財源	一般財源			
■ 地域経済の「活性化と持続的発展」									
○5	強い農業づくり支援事業	26,630	7,623	1,000		1,000	◆地域おこし協力隊の起業等支援 1,000千円 ・オリーブ苗木生産・販売の拡充に向けた簡易ハウス等の 整備支援	農林水産課	
■ 観光を基軸とした産業振興									
6	農地農業用施設災害復旧事業	141,304	101,000	2,700	府 市債 分負	1,350 900 405	45	◆令和2年8月豪雨に係る農地農業用施設災害復旧経費 2,700千円	農林水産課

	事業名	令和元年度 決算額	令和2年度 既決予算額	予算額	財源内訳		事業の概要	課名
					特定財源	一般財源		
健康増進と福祉の推進								
7	充実 養老診療所の継続診療に対する支援 (診療所管理事業)	7,158	6,061	3,000	国 1,085 寄附 1,415	500	◆養老診療所の医師交代に伴う診療体制支援 3,000千円 ※12月末に林医師が閉院、1月より上川医師が開院	健康・介護課
その他								
8	職員人件費(一般会計分)	2,023,315	2,004,815	△ 4,378		△ 4,378	◆人事院勧告に基づく期末手当支給月数の改定に伴う人件費減 ・議員 ▲267千円 ・特別職(長等) ▲155千円 ・一般職 ▲3,956千円	総務課
9	国府支出金等返還金	14,673	40,009	1,796	諸 1,796	0	◆多面的機能支払交付金に係る前年度持越金の不用等による 国府支出金の返還 1,796千円	農林水産課
10	社会福祉援護事務事業	2,638	2,717	660	国 330	330	◆障害者自立支援給付費審査支払等システムの改修 660千円 ・報酬改定に基づくシステム改修	社会福祉課
11	生活保護事務事業	6,953	8,980	660	国 330	330	◆生活保護システム改修 660千円 ・R2日常生活支援居住施設の施行に伴うシステム改修	社会福祉課
12	公債費の整理補正 (市債償還元金・市債利子)	1,401,070	1,285,426	△ 4,182		△ 4,182	◆市債の償還額(元金・利子)の整理 ▲4,182千円 ・元金1,208,653千円⇒1,208,783千円(+131千円) ・利子76,773千円⇒72,460千円(▲4,313千円)	財政課
13	財政調整基金積立金	1	4,008	2,200		2,200	◆財政調整基金の積立 2,200千円 新型コロナに係る既決予算の減額相当額の積立 ※ R02年度末残高見込：79,624千円	財政課
14	新型コロナに係る既決予算の減額	26,791	29,024	△ 2,138		△ 2,138		
	議会運営事業	5,706	7,634	△ 1,066		△ 1,066	◆行政視察の取止め ▲1,066千円	議事調査課
	監査委員運営事業	3,785	3,915	△ 295		△ 295	◆研修会の中止等 ▲295千円	監査委員会事務局
	都市公園等管理運営事業	17,300	17,475	△ 777		△ 777	◆西宮津公園のプールの休止 ▲777千円	都市住宅課

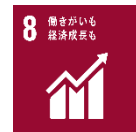
■特別会計・事業会計に係る補正

(単位：千円)

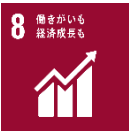
	事業名	令和元年度 決算額	令和2年度 既決予算額	今回補正額	財 源 内 訳		事業の概要	課 名
					特定財源	一般財源		
特1	国民健康保険事業特別会計	2,162,626	2,214,813	△ 70	繰入 △ 70	0	◆人件費補正（人勤に基づくもの） ▲87千円	税務・国保課
特2	介護保険事業特別会計	2,880,156	2,995,210	△ 180	国 府 繰入 △ 40 △ 20 △ 120	0	◆人件費補正（人勤に基づくもの） ▲205千円	健康・介護課
特3	水道事業会計	993,684	1,251,001	△ 775			◆人件費補正（人勤に基づくもの） ▲224千円 ◆公債費の整理 ▲551千円	上下水道課
特4	下水道事業会計	—	1,790,948	△ 33,173			◆人件費補正（人勤に基づくもの） ▲106千円 ◆公債費の整理 ▲617千円 ◆一般会計繰入金等の会計整理等	上下水道課



事業名	観光客の受け入れ態勢の充実 (浜町にぎわいづくり推進事業)	充実	補正予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H26：浜町立体駐車場の取得（市営化） ・H27：観光交流センターオープン、道の駅登録 ・H28：地域振興拠点の具体化に向けた宮津商工会議所による事業パートナーの選定 ・H29：道の駅内にパイロット事業施設「おさかなキッチンみやづ」オープン ・R2：立体駐車場の24時間化(4月) まちなか地域振興拠点施設として再編、指定管理者による運営開始(8月) 		3,500	3,500				0
			(参考)補正後予算額	特定財源の内訳				
			37,489	国	地方創生臨時交付金			3,500
			(参考)前年度決算額					
補正理由 及び 目的・目標	道の駅周辺の車両混雑の解消のため、市街地での各種イベント開催時の車両受入態勢の拡充を行い、浜町地区周辺のにぎわいづくりにつなげる。		ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略				
			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興				
事業概要	■道の駅「海の京都 宮津」周辺の観光客受入機能の強化 3,500千円 【繰越明許費の設定 3,500千円】		総合戦略 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする				
	<ul style="list-style-type: none"> ・平面駐車場区画数の増(10台程度) 2,000千円 ・駐車場の円滑利用に資する誘導看板等の整備 1,500千円 ※島崎公園多目的広場を土日祝日等に臨時駐車場(34台)として活用するための誘導看板等も含む 		【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			H27	浜町エリア及びその周辺エリアの活性化に向けて				
		期待される 効果等	道の駅周辺の車両混雑の解消により、浜町地区周辺のにぎわいづくりにつなげる。 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 R2:310万人(R元:321万人) 観光消費額 R2:150億円(R元:109億円) 外国人観光客宿泊数 R2:6万人(R元:5.4万人)					
参考：平面駐車場：収容可能台数 57台（今回整備後67台程度＋土日等は島崎公園34台） 立体駐車場：収容可能台数 423台		担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係		45-1663		1	

事業名	宮津天橋立観光V字回復に向けた誘客推進 ~[宮津カニバス] 支援事業~ (宮津天橋立観光V字回復推進事業)	充実	補正予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の観光入込客数が激減し、宿泊や飲食等の観光業の売上げが著しく減少し、今後も厳しい状況が予想される。 GoToキャンペーン等により観光入込は回復傾向にあるが、マイカー中心であり、高速バスなどの公共交通機関の利用は低調（高速定期バス利用：運行再開以降の6月～9月実績が前年比約50%） 公共交通機関のうち鉄道については「まるごと北近畿キャッシュバックキャンペーン(主催:北近畿広域観光連盟)」により誘客対策実施（高速バスについては誘客対策は実施していない状況） 		10,000	10,000				0
			(参考)補正後予算額	特定財源の内訳				
補正理由及び目的・目標	高速バス定期便を活用した観光誘客キャンペーンを実施することにより、交通手段の選択肢を広げ、多様な観光需要に対応するとともに、「宮津のカニ」のPR・定着による来年度以降も見据えた需要喚起や観光誘客の推進及び旅館、飲食店等の経営支援を図るもの。		46,500	国	地方創生臨時交付金			10,000
			(参考)前年度決算額					
事業概要	<p>■高速バス利用及び「宮津のカニ」PRによる誘客推進と宿泊・飲食の需要喚起【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象 高速バス定期便（京都発、大阪発の計6便）の乗客 ※但し、宮津市内のバス停（3ヶ所）で下車する乗客に限定。 ○内容 高速バス下車時に乗車証明書を発行。市内宿泊施設や飲食店で1人が1万円以上のカニ料理プラン利用につき、1人当たり3,000円の割引サービス。 ※GoToトラベル、GoToイートとの併用可 ○期間 令和3年1月1日～令和3年3月21日（80日間） ○実施主体 GoTo MIYAZUタスクフォース <p>【予算】10,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・換金経費 7,200千円（1日30人利用×80日間×3,000円） ・プロモーション経費 2,800千円（チラシ作成、HP更新など） <p><参考></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス料金 京都線（京都駅～天橋立駅間／2,900円）、大阪線（阪急梅田～天橋立駅間／2,700円） 		0					
			ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略				
			ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興				
			総合戦略政策	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
			期待される効果等	公共交通機関を活用した観光誘客の推進と、市内飲食店の需要喚起による地域経済の活性化。 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 R2:310万人(R元:321万人) 観光消費額 R2:150億円(R元:109億円)				
担当部署	産業経済部 商工観光課 観光係	45-1625	2					



事業名	新しい生活様式を踏まえた都市部からの副業・兼業人材の受入推進 (副業・兼業プロ人材活用事業)	新規	補正予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、「新しい生活様式」を積極的に取り入れた働き方の新しいスタイルの一つとしてテレワークが拡大。 働き方の新しいスタイルが定着し、空いた時間を活用した副業・兼業の動きの広がりが見られる。 		3,500	3,500				0
		(参考)補正後予算額	3,500	国	地方創生臨時交付金			3,500
補正理由 及び 目的・目標	市内事業所の経営力の向上や地域等の課題解決を図るため、都市部から副業・兼業人材を募集し、事業所・地域等とマッチングする仕組みづくりを行うとともに、関係人口の創出・拡大を図る。	(参考)前年度決算額	-					
		ビジョン 重点戦略	定住促進戦略					
事業概要	<p>■副業・兼業プロ人材活用補助金 3,000千円【繰越明許費の設定 3,000千円】</p> <p>○「みやづ外部人材マッチングセンター」の活動費を支援 〈組織構成〉 宮津商工会議所(代表)、京都北都信用金庫(事務局)、宮津市 〈取組内容〉 ・市内事業所(20社程度)と都市部の企業社員等(副業・兼業)の募集(プロモーション含む。)からマッチングまで ・プロ人材活用に係る講演会や研修等の開催など 〈募集テーマ〉 市内事業所の経営課題解決/まちづくり事業のサポート/関係人口創出等の行政課題に対するアドバイス</p> <p>■アドバイザーの受入れ謝礼等 500千円【繰越明許費の設定 500千円】</p> <p>本事業で副業・兼業プロ人材を受け入れ、地域等への助言や本市の関係人口創出等の取組への助言を受ける ○まちづくり事業のサポート(地域等が受け入れ) 〈内容〉地域課題解決型地域おこし協力隊の配置先団体等への補助支援 ○関係人口創出等の行政課題に対するアドバイス(市が受け入れ) ※副業・兼業プロ人材に対する謝礼・旅費</p>	ビジョン 基本施策	—					
		総合戦略 策	みやづへの人の流れをつくる					
		【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】						
				期待される 効果等	受け入れた副業・兼業プロ人材が新たな地域の担い手となるなど、関係人口の創出・拡大につながる。			
			 					
		担当部署	企画財政部 企画課 定住・空家対策係		45-1607	4		

事業名	強い農業づくり支援事業	充実	補正予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	[地域おこし協力隊 (オリーブ事業)] 地域外の人材の定住を促進し、地域活性化を図るため、市内オリーブ生産者の支援等に従事する地域おこし協力隊を配置。 ・H25～：地域おこし協力隊 4名配置 (全員定住) ・R元：起業支援 (オリーブ茶葉等加工販売事業) 1名		1,000					1,000
			(参考)補正後予算額	特定財源の内訳				
			8,623					
補正理由及び目的・目標	オリーブの生産拡大を図るとともに、地域おこし協力隊の定住につなげるため、オリーブ産業に係る起業を支援する。		(参考)前年度決算額					
			26,630					
事業概要	■地域おこし協力隊の起業支援 1,000千円 ・事業内容 オリーブ苗木生産・販売拠点の設置 簡易ハウスの購入・設置 1棟 738,000円 苗木育苗用自走式動力噴霧器の購入 1台 339,900円 ・対象事業費 1,077,900円 ・補助金 1,000,000円 (補助率：定額、上限1,000千円) <参考> H29より委嘱し、R元に任期満了となった隊員に係る起業支援。任期中は「宮津オリーブ生産者の会」の中核的な役割を担い、オリーブ栽培 (植樹や剪定など) における生産性の向上へ向けた活動に従事。		ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略				
			ビジョン基本施策	—				
			総合戦略政策	みやづを担う次代の人づくり				
			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
期待される効果等	・地域で活躍する人材の定住 ・新たな特産品開発 ・観光消費の拡大や外貨獲得 							
担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係			45-1626		5		

事業名	養老診療所の継続診療に対する支援 (診療所管理事業)	充実	補正予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・S55.5 宮津市が内科と歯科を併設した診療所として整備 養老診療所の開所(民営、S57から現医師(林医師)による運営) ・R2.8 林医師から体調面の理由により年内での閉院意向を市に報告 後任医師の確保について与謝医師会に相談、依頼 ・R2.10 後任医師(R3.1以降の継続診療体制)を確保 		3,000	1,085			1,415	500	
		(参考)補正後予算額	特 定 財 源 の 内 訳						
		9,061	国 寄附	地方創生臨時交付金 新型コロナウイルス感染症対策寄附金		1,085 1,415			
補正理由 及び 目的・目標	R3.1月から新たな医師が養老診療所を運営するにあたり、初期経費等に対する支援を行い、地域住民が安心して医療を受けられる環境を確保する。	(参考)前年度決算額	7,158						
		ビジョン 重点戦略	—						
事業概要	<p>■養老診療所の継続診療に対する支援 3,000千円</p> <p>○新たな診療体制 医師：上川 浩美 診療科目：内科、小児科 診療日：週4日(火～金 9時～12時)</p> <p>○支援内容 ・開設初期経費への支援等 3,000千円 診療消耗品及び備品の整備、看板等表示の変更 待合室・診察室の内装改修ほか</p> <p>【参考：現在の診療体制】 医師：林 信昌 診療科目：内科 診療日：週5日(月～金 9時～12時)</p>	ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進						
		総合戦略 策 略	—						
		【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】							
		期 待 される 効果等	養老、日ヶ谷地区における医療機会の確保						
									
		担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係		45-1624		7		

令和2年度12月補正予算 人件費について

■ 令和2年人事院勧告に基づく期末手当支給月数の改定等によるもの。

(単位:千円)

/	人 員	費 目	R2	R2	増減	増減の要因		
			現計予算	補正予算後		期末手当支給 月数の改定に よるもの	その他	
一 般 会 計	議 員 (13人)	報 酬	55,804	55,804	0		0	
		手 当	18,182	17,915	△ 267	△ 267	0	
		共済費	19,511	19,511	0		0	
		計	93,497	93,230	△ 267	△ 267	0	
	特別職 (長等)	(3人)	給料	21,984	21,984	0		0
			手 当	18,399	18,269	△ 130	△ 130	0
			共済費	6,482	6,457	△ 25	△ 25	0
			計	46,865	46,710	△ 155	△ 155	0
	その他の特別職	(1,030人)	計	56,878	56,878	0		0
	一般職	190人	給料	742,662	742,662	0		0
			手当等	549,567	546,241	△ 3,326	△ 3,326	0
			共済費	288,462	287,832	△ 630	△ 630	0
			計	1,580,691	1,576,735	△ 3,956	△ 3,956	0
会計年度任用職員	(174人) → (165人)	計	226,884	226,122	△ 762		△ 762	
一 般 会 計 合 計			2,004,815	1,999,675	△ 5,140	△ 4,378	△ 762	
特別会計等合計		28人	計	268,653	268,101	△ 552	△ 552	0
全会計合計		218人	計	2,273,468	2,267,776	△ 5,692	△ 4,930	△ 762

※上記の予算額には、定数外再任用職員分(6人)を含み、児童手当・互助会補助金・賞与引当金は含んでいない。

8

令和2年12月定例会 令和2年度12月補正予算 事業等説明資料【下水道事業会計(第2号)】

(単位:千円)

会計名等	下水道事業会計				設置目的	公共用水域の水質の保全と生活環境の向上を図る。			
予 算	収益的収入(税込) A					収益的費用(税込) B			
		補正前	補正額	補正後		補正前	補正額	補正後	
	1 営業収益	285,553		285,553	1 営業費用	834,018	△ 32,533	801,485	
	下水道使用料	285,168		285,168	管渠費・ポンプ場費	36,786	④ △ 40	36,746	
	2 営業外収益	608,885	11,186	620,071	流域下水道維持管理費	298,901		298,901	
	他会計補助金	365,226	③ 54,331	419,557	総係費	25,714	④ △ 43	25,671	
	国庫補助金	1,000		1,000	減価償却費	470,617	① △ 32,450	438,167	
	長期前受金戻入	170,260	① 11,448	181,708	2 営業外費用	120,419	△ 617	119,802	
	資本費繰入収益	60,918	② △ 54,593	6,325	支払利息	120,409	⑤ △ 617	119,792	
	3 特別利益	10,510		10,510	3 特別損失・予備費	8,352		8,352	
	合 計	904,948	11,186	916,134	合 計	962,789	△ 33,150	929,639	
	資本的収入(税込) C					資本的支出(税込) D			
		補正前	補正額	補正後		補正前	補正額	補正後	
	1 企業債	506,100		506,100	1 建設改良費	110,393	△ 23	110,370	
2 負担金	15,672		15,672	公共下水道費	62,901	④ △ 23	62,878		
3 他会計補助金(基準内)	43,676	② 54,593	98,269	流域下水道費	47,492		47,492		
4 他会計出資金(基準外)	30,784	③ △ 30,784	0	2 企業債償還金	717,766		717,766		
合 計	596,232	23,809	620,041	合 計	828,159	△ 23	828,136		
	補正前	補正額	補正後		補正前	補正額	補正後		
収益的収支差引 A-B	△ 57,841	44,336	△ 13,505						
資本的収支差引 C-D	△ 231,927	23,832	△ 208,095						
補正予算の概要	一般会計繰入金を含む会計整理を行うとともに、人事院勧告に基づく人件費の整理及び借入利率の確定に伴う企業債利子の整理を行うもの ① 保有資産の耐用年数等の精査が完了したことによる減価償却費及び長期前受金戻入の補正 ② 企業債償還金に係る基準内繰入額の計上科目を収益的収入から資本的収入に変更 ③ 流域下水道維持管理費の一部を基準内繰入の対象として位置づけたこと等による他会計補助金の補正 ④ 人事院勧告に基づく人件費の補正 ⑤ 今年度に支出の必要な企業債利子が確定したことによる整理補正								
備考	○ 一般会計繰入金の取扱いについては、基準内外の対象経費を整理し、その結果、今年度については基準内繰入金が増加した。 ○ 一方、基準外繰入金については、今年度に限っては、収益的収支における特別利益の発生や資本費平準化債の発行可能額増(9月補正対応)等により不要となった。(来年度以降の取扱いについては今後検討)								
担当部署	建設部 上下水道課 管理係				TEL	45-1635		特4	